



まちづくりガイド

町が取り組む施策や事業についてわかりやすくご紹介します

⑩光文庫整備基金活用事業

昨年5月の(株)光製作所からの寄附により、すべての小中学校図書室の整備を進め、学校図書室に「光文庫」を創設いたしました。この整備事業では、図書室の全面改修工事、新書籍の購入、コンピュータ図書システムの導入、テーブルやイスなどの備品の購入を行い、木を基調とした内装、木製家具などを多く用いて、木のぬくもりを感じられるとても明るく綺麗な図書室へリフレッシュしました。また、蔵書するすべての書籍のバーコードによるコンピュータ管理を導入し、貸出・返却が簡素となり、条件に見合う書籍の検索もとても容易となりました。



笠松小学校



松枝小学校



下羽栗小学校



笠松中学校

図書室蔵書数

今回の整備に合わせて以下冊数の新書籍購入を行い、図書室蔵書の充実を図りました。今年度以降も計画的に新刊などの書籍の購入を行い、蔵書の増加を進めてまいります。

学 校 名	平成18年度新書籍購入数	全 蔵 書 数	児童生徒数 (平成19年5月現在)
笠松小学校	1,071	10,242	323
松枝小学校	1,221	10,860	700
下羽栗小学校	1,469	6,173	323
笠松中学校	3,613	13,584	586

今後の取り組み

平成18年の光文庫整備事業残額の約1,200万円を「光文庫整備基金」としての基金積立を行い、平成19年度以降の図書整備、おもに新書籍の購入に充てていく計画としています。

また、各学校では「朝読書」の実施やさまざまな図書室行事などにより、すべての学力基礎となる確かな読書力の向上を図り、読書を通じた豊かな人間性の育成を行ってまいります。

今後も子供たちのために、より一層の図書室充実を図ります。